第三十六回農業戦略本部

令和8年10月26日

会 議 録		
場 所	市役所 10 階 委員会開催室	
参加者	参加者	：市長、副市長、山形市農業委員会 会長、山形市農業協同組合 代表理事組合長、山形農業協同組合 代表理事組合長、女性農業者、やまがた農業支援センター 常務理事、山形大学農学部 教授
	事務局	：山形市農業協同組合 経済部長、山形農業協同組合 営農経済部長、農林部長、農政課長、農村整備課長、農政課長補佐、農政企画係長、営農改善係長、農産係長、就農・経営支援係長、6次産業推進係長
	ｵﾌﾞｻﾞｰﾊﾞｰ	：山形大学農学部 准教授、山形市土地改良区連合会 副会長、山形市土地改良区連合会 事務局長、JA 全農山形 営農企画部次長

〇市長より

本日は、お忙しい中、第36回山形市農業戦略本部会議にご出席をいただき、誠にありがとうございます。

さて、今年は県内各地で長雨が続き、日照時間が平年より少なくなるなど、農作物の生育が心配されましたが、令和8年度産の山形県内のコメの作況単収指数は、県全体で101、村山管内では99となり、昨年度同様に平年並み程度となっております。これもひとえに、生産者の皆様をはじめ、農業に携わる皆様方のご尽力の賜物であり、心より感謝申し上げます。

その一方で、農業を取り巻く環境は、頻発化・激甚化する自然災害や、農業者の高齢化、担い手不足など、依然として厳しさを増しております。

こうした中、山形市といたしましては、将来にわたって持続可能な農業を実現していくため、今年度中の策定に向け作業を進めている「第7次 山形市農業振興基本計画」に必要な施策を盛り込み、引き続き、山形市農業戦略本部を中心に取組を進めてまいりますので、ご参会の皆様方におかれましては、今後とも、より一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

本日の本部会議では、山形大学農学部准教授より、「山形市農産物適地・適作調査研究」の結果について、ご報告をいただきます。

また、皆様方には、「ジビエの利活用」並びに、昨年度から継続して討議を重ねてまいりました「水田農業の持続化と今後の農業者支援のあり方」について、ご討議いただきます。

いずれも、山形市の持続可能な農業の実現に向け、重要な内容でありますので、皆様には忌憚のないご意見を賜りますようお願いいたします。

1 議題

【報告事項】

『山形市農産物適地・適作調査研究の報告について』

『次年度に向けた取組事業(案)について』

『第7次山形市農業振興基本計画の策定状況について』

【討議事項】

『ジビエの利活用について』

『水田農業の持続化と今後の農業者支援のあり方について』

【報告事項】

『山形市農産物適地・適作調査研究の報告について』

〇山形大学農学部准教授より、資料に基づき報告があった。

『次年度に向けた取組事業(案)について』

〇農政課長より、資料に基づき説明があった。

『第7次山形市農業振興基本計画の策定状況について』

〇農政課長より、資料に基づき説明があった。

【討議事項】

『ジビエの利活用について』

〇農政課長より、資料に基づき説明があった。

「ジビエリンク・フォーラム」の開催や関係者の意見を踏まえて、ジビエ利活用の今後の取組の方向性について討議を行った。

『水田農業の持続化と今後の農業者支援のあり方について』

〇農政課長より、資料に基づき説明があった。

米価や生産コスト、農業資材の高騰など、水田の持続化に向けた課題や国の新たな政策を踏まえて、今後の農業者への支援のあり方について討議を行った。